製品別比較表(標準品との比較)

商 品 名	
会 社 名 日新製薬株式会社	商 只 夕
東	
1 錠薬価差 10.90 円 日本薬局方 パロキセチン塩酸塩水和物 1錠中に日本薬局方パロキセチン塩酸塩水和物 5.69mg (パロキセチンとして 5mg) を含有 薬 効 分 類 名 精神神経用剤 うつ病・うつ状態、パニック障害、強迫性障害、社会不安障害、外傷後ストレス障 適常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして 20~40mg を経口投与する。投与は1 10~20mg より開始し、原則として1週ごとに 10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1 40mg を超えない範囲で適宜増減する。 バニック障害 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして 30mg を経口投与する。投与は1 10~20mg より開始し、原則として1週ごとに 10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日 30mg を 2ない範囲で適宜増減する。 3な過性障害 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして 40mg を経口投与する。投与は1回 10 より開始し、原則として1週ごとに 10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日 50mg を 2ない範囲で適宜増減する。 2ない範囲で適宜増減する。 2ない範囲で適宜増減する。 2ない範囲で適宜増減する。 3ない範囲で適宜増減する。 3なお、症状により1日40を超えない範囲で適宜増減する。 3なお、症状により1日40を超えない範囲で適宜増減する。 3なお、症状により1日40を超えない範囲で適宜増減する。 3なお、症状により1日40を超えない範囲で適宜増減する。 3なお、症状により1日40を超えない範囲で適宜増減する。 3なお、症状により1日40を超えない範囲で適宜増減する。 3なお、症状により1日40mg 2を経口投与する。 3なお、症状により1日40を超えない範囲で適宜増減する。 3なお、症状により1日40を超えない範囲で適宜増減する。 3なお、症状により1日40を超えない・10mg/日ずつ増量する。 3なお、症状により1日40を超えない・10mg/日ずつ増量する。 3なお、症状により1日40を超えない・10mg/日ずつ増量する。 3なお、症状により1日40を超えない・10mg/日ずつ増量する。 3なお、症状により1日40を経れて適宜増減する。 3なは、10mg/日ずつ増量する。 3なお、10mg/日が増量する。 3なお、10mg/日が増量する。 3なお、10mg/日が増量する。 3なお、10mg/日が増量する。 3なお、10mg/日が増量する。 3なお、10mg/日が増置する。 3なお、10mg/日が増置する。 3なお、10mg/日が増置する。 3なお、10mg/日が増置する。 3なお、10mg/日が増置する。 3なお、10mg/日が増置する。 3なお、10mg/日が増置する。 3なお、10mg/日が増置する。 3なは、10mg/日が増置する。 3なは、10mg/日が増置する。 3なは、10mg/日が増置する。 3なは、10mg/日が増置する。 3ないは、10mg/日が増置する。 3ないは、10mg/日が生産のは	
成 分 名 日本薬局方 パロキセチン塩酸塩水和物 見規 格 1 錠中に日本薬局方パロキセチン塩酸塩水和物 5.69mg (パロキセチンとして 5mg) を含有 薬 効 分 類 名 対能・効果 標準品と同じ うつ病・うつ状態、パニック障害、強迫性障害、社会不安障害、外傷後ストレス障	
規	
薬 効 分 類 名 精神神経用剤	****
 効能・効果 標準品と同じ うつ病・うつ状態、パニック障害、強迫性障害、社会不安障害、外傷後ストレス障 うつ病・うつ状態 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして20~40mg を経口投与する。投与は110~20mg より開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により140mg を超えない範囲で適宜増減する。パニック障害 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして30mg を経口投与する。投与は1回10より開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日30mg を2ない範囲で適宜増減する。強迫性障害 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして40mg を経口投与する。投与は1回20より開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日50mg を2ない範囲で適宜増減する。社会不安障害 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして20mg を経口投与する。投与は1回10より開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日40mg を20mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日40を超えない範囲で適宜増減する。 	
カース	薬 効 分 類 名
 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして20~40mg を経口投与する。投与は110~20mg より開始し、原則として1週ごとに 10mg/日ずつ増量する。なお、症状により140mg を超えない範囲で適宜増減する。パニック障害 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして30mg を経口投与する。投与は1回10より開始し、原則として1週ごとに 10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日30mgを2ない範囲で適宜増減する。 強迫性障害 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして40mgを経口投与する。投与は1回20より開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日50mgを2ない範囲で適宜増減する。 社会不安障害 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして20mgを経口投与する。投与は1回10より開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日40mgを2ない範囲で適宜増減する。 外傷後ストレス障害 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして20mgを経口投与する。投与は1回1020mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日40を超えない範囲で適宜増減する。 	効能・効果
リン酸水素カルシウム水和物 デンプングリコール酸ナ デンプングリコール酸ナトリウム ステアリン酸マク	用法・用量
添加物	添加物
規制区分 劇薬、処方箋医薬品 劇薬、処方箋医薬品 貯 法 室温保存3年	規制区分貯法
直径(mm) 厚さ(mm) 重量(mg) 外 形	
製品の性状 パロキセチン錠 5mg「日新」 帯紅白色のフィルムコーティング錠 5.6 2.5 89.5	製品の性状
標準品(錠剤、5mg)5.62.490	
品質再評価	品質再評価
本 日 と の 一次日本セチン錠5mg「日新」 一次日本セチン錠5mg「日新」 一次日本セチン錠10mg「日新」 一次日本セチン錠5mg「日新」 一次日本セチン錠5mg「日新」 一次日本セチン錠10mg「日新」 一次日本セチン錠10mg「日新」 一次日本セチン錠10mg「日新」 一次日本セチン錠5mg「日新」 一次日本セチン錠10mg「日新」 一次日本・次日本・次日本・次日本・次日本・次日本・次日本・次日本・次日本・次日本・	
担当者、連絡先	担当者、連絡先